

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

2 月号

東京教区 埼玉組



月刊◎ 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660 榎本明覚



天台宗別格本山浮岳山昌楽院深大寺
東京都調布市深大寺元町5丁目15-1

東京教区の名品・特産品

～ 多摩組 そば ～

▼二〇二五年二月一日▲

定例法座

毎月
十一日

◎二月十一日(祝)午後二時

～三時半

於 善巧寺 法輪会館

「声明の世界②」

前は、声明(しょうみやう・お経に節を付し唱える事)について、その曲調や速さについてお話しいたしました。今回は、実際に『正信念仏偈』と念仏和讃を一緒に練習してみましよう。毎朝と夕時にお勤めされている「きーみよーうむりよーうじゆにょらいー」で始まる『正信偈』ですが、現在、お西(本願寺派)で唱えられている節には、草譜(そうふ)・行譜(ぎょうふ)・真譜(しんぷ)があります。草譜が毎朝のお勤めで一番ポピュラーかつ伝統的な唱え方です。親鸞聖人の月忌

毎月十六日に唱えられるのが行譜、真譜は一年に一回だけ、親鸞聖人の祥月命日に当たる一月十六日、御正忌報恩講で京都ご本山本願寺でのみ勤められます。

他に特別な法要時の唱法として、お葬儀に用いる節(中拍子)、報恩講などで用いられる十二礼の節、親鸞聖人七五〇回大遠忌で制定された宗祖讃仰作法・音楽法要(これは節というより楽曲ですね)、この度、新たに作られた『新制御本典作法』の節などがあります。

親鸞聖人の主著『教行信証』行巻末に所載の『正信偈』に念仏・和讃を加えて毎朝お勤めされるようになったのは室町時代。本願寺第八代蓮如上人からです。当時、天台宗の末寺であった本願寺は、比叡山の決まりに従い善

導大師の『往生礼讃』をお勤めしました。しかし親鸞聖人の教えの独自性を見抜かれていた蓮如上人はそれを廃し、『正信偈』を唱えるよう変革されたのでした。節は、千本釈迦堂で行われていた釈迦念仏を取り入れたものかと推察されています。関東の親鸞聖人直弟が唱えていた節の流れ、天台宗大原魚山声明の流れ、語り物である「講式」からの流れ、多くの唱法が用いられ、お東(真宗大谷派)さんでは九種の唱え方が現存しています。特に「句洵(くゆり)」「句切(くぎり)」という唱法は、喉を傷めてしまうのではないかとこのほど高音を使います。抑揚の強い勇壮な音曲で、東本願寺の御正忌報恩講等特別な法要でお勤めされています。



◆◆春日部だより◆◆

◎比較的暖冬傾向ですが、油断するとやっぱり寒い、となる今日この頃、皆さま大事にされておりますでしょうか。

◎善巧寺の裏側古利根川に架かる藤塚橋の延命工事に伴い、隣の田んぼは鉄板が敷かれ資材置き場となり毎日重機が動いています。シヨベルカーが発進する際、庫裏が揺れるのが少し心配ではありますが、作業が事故無く無事に終わってほしいと思っています。

◎十一日の定例法座では、毎年お汁粉や小豆がゆなどをお出ししてきました(小豆は親鸞聖人の好物と言われています)。今回は、京都下鴨にある茶寮宝泉さんのものを参考に白小豆のぜんざいに挑戦します。果たして透明なお汁に美しく仕上がるでしょうか。



◎宝泉さんは新幹線京都駅改札内にもお店があります。京都にお越しの際は是非お立ち寄りを(人気なので並ぶ必要があるかもです)。



みほとけ会月例会

※ ZOOM ミーティング ※

寺カフェ代官山での新年会は大変盛り上がりしました。ご参加の皆さま有難うございました。次回の対面でのミーティングは、四月、六月、九月、十一月となります。四月は鎌倉五山の参拝と禅文化学習を計画中です。来月ご案内出来ればと思っております。

今月は ZOOM インターネット法話座談会を開催します。

六日・二十日(木)

共に午後八時スタートです。

参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

までメール送信下さい。